



2024
年度

KONAN

未来サポーターズ

事業実施状況

事業期間：2024 年 4 月 1 日 ▶ 2025 年 3 月 31 日

KONAN SUPPORTERS for FUTURE



未来サポーターズ

706 人

2024 年度寄付金合計

30,335,697 円

皆様からのご芳志は、ご指定の使途に沿って大切に使用させていただきます。
改めて、多大なご支援を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

01.奨学金・奨励金支援

様々な理由により、経済的に困難な学生・生徒に対して
奨学金・奨励金で支援

02.学生・生徒プロジェクト支援

学生・生徒が学内外で行う各種プロジェクトへの支援

03.文系学生に対する教育研究支援

文系学生の教育研究活動の活性化を支援

04.理系学生に対する教育研究支援

理系学生の教育研究活動の活性化を支援

05.教育・研究活動支援

教育研究環境の整備および教育研究活動の発展・充実、
各種資格取得等に対する支援

06.国際交流支援

学生・生徒の留学、外国人留学生の修学、学術交流の
活性化の支援

07.課外活動支援

大学の体育会および文化会、中高の各クラブに対する
設備・備品等の支援

08.地域連携活動支援

地域との連携を推進するための支援

09.図書整備支援

図書・電子図書の充実化のための支援

10.中高大一貫教育推進支援

中学、高校、大学の一貫教育推進・充実のための支援

11.キャンパス整備支援

安全・快適なキャンパス作り、学習環境の整備のための支援

12.リカレント教育支援

リカレント教育・社会人講座・公開講座等の支援

13.学園資料整備事業

学園にある長谷川三郎や貴志康一等の貴重な資料を
保管するための支援

01 奨学金・奨励金支援

● 経済的に困難な学生への優秀者奨励金

JASSO 貸与奨学生のうち優秀な学業成績を修めている卒業予定の学生に対し、奨励金を給付いたしました。

採用者：34 名 内訳は以下の通りです。

学士課程：文学部 5 名（内訳：日本語日本文学科 1 名、英語英米文学科 1 名、社会学科 1 名、人間科学科 1 名、歴史文化学科 1 名）、経済学部 4 名、法学部 4 名、経営学部 4 名、理工学部 3 名（内訳：物理学科 1 名、生物学科 1 名、機能分子化学科 1 名）、知能情報学部 2 名、マネジメント創造学部 3 名、フロンティアサイエンス学部 1 名。

修士課程：自然科学研究科 4 名（物理学専攻 1 名、化学専攻 1 名、生物学専攻 1 名、知能情報学専攻 1 名）、人文科学研究科 1 名、社会科学研究科 1 名、フロンティアサイエンス研究科 1 名。

博士後期課程：フロンティアサイエンス研究科 1 名の計 34 名。

2024 年 10 月 23 日には「KONAN 未来サポーターズ寄付金優秀者奨励金」授与式を 3 号館 7 階の会議室で開催しました。授与式には 27 名の学生が出席し、中井伊都子学長より通知書を受け取りました。受給者の代表謝辞では、ご寄付くださったサポーターの方々への感謝と、学生生活の取り組みが認められた喜びの気持ちが述べられました。

受給者の学生全員から集まったコメントでは、KONAN 未来サポーターズの方々への感謝と選ばれた喜びの気持ちとともに、今後の目標や頑張っていることなど、卒業後の飛躍につながる言葉が多く綴られていました。

授与式の様子は、学生生活支援センターホームページのニュースに掲載しております。

(<https://www.konan-u.ac.jp/news/archives/49967>)



◆ 寄付者の皆様へ

この度は学生たちへの支援として沢山のご寄付をいただき、ありがとうございました。受給した学生たちは非常に喜んでおり、経済的な支援や一生懸命に学業に取り組んできたことが認められた喜びと、ご寄付いただいた方々への感謝の言葉が多く集まっています。

02 学生・生徒プロジェクト支援

●【学生コーディネーター】ユニフォーム&のぼり旗による訴求力向上

地域連携センター学生コーディネーター「なんティア」は、活動時に着用する「ユニフォーム」と活動をさらに広げるための「のぼり旗」を制作いたしました。どちらも、一目で学生コーディネーター「なんティア」だとわかることを目的として、学生が主体となり制作に取り組みました。

【ユニフォーム制作スケジュール】

6月下旬～9月中旬：

ユニフォームの素材・デザインの検討

9月中旬：ユニフォーム発注

11月上旬：ユニフォーム納品

【のぼり旗制作スケジュール】

10月～11月上旬：

のぼり旗デザインの検討

11月中旬：のぼり旗発注

12月上旬：のぼり旗納品

ユニフォーム・のぼり旗ともに地域連携センター学生コーディネーターとしての団体備品であるため、代替わりをしても使用方法等が分かるよう学生自身で管理マニュアルを作成しました。学生ピア相談時や、学生コーディネーターが主催として行うイベント等で積極的に活用していきます。また、今後活動の際に利用するICレコーダーや事務用文具も購入いたしました。

地域連携センターホームページに今回の活動報告を掲載しておりますので、下記リンクからご確認ください。

地域連携センターホームページ 活動報告リンク

- ・ [『KONAN 未来サポーターズの皆様のご支援をいただき、地域連携センター学生コーディネーター「なんティア」のユニフォームを制作しました！』](#)
- ・ [『KONAN 未来サポーターズの皆様のご支援をいただき、地域連携センター学生コーディネーター「なんティア」の「のぼり旗」を制作しました！』](#)

◆ 寄付者の皆様へ

地域連携センター学生コーディネーター「なんティア」は地域連携センターの教職員と協力しながら、学生と地域団体とを繋ぐボランティア活動に取り組んでいます。今回、活動時に着用する「ユニフォーム」と活動をさらに広げるための「のぼり旗」を制作いたしました。今後、積極的に活用することで皆さんの目に触れる機会を増やし、より多くの方にボランティア活動を知ってもらい、参加につなげていきたいと思っております。

04 理系学生に対する教育研究支援

● アクティブラーニング型教室における備品の充実について

フロンティアサイエンス学部では徹底的少人数体制に基づいたアクティブラーニング型授業を専門教育科目に展開する試みを進めており、学生の主体的な学修を促すため、高大接続的授業である序論科目をはじめ、プレゼンテーション演習といった必修科目についても、アクティブラーニング型授業を導入しつつあります。

この度調達させていただいた可動式ホワイトボードを活用した授業が 601 & 602 教室（2024 年度からアクティブラーニング型教室として利用）で展開されており、早速その効果が発揮されています。プレゼンテーション演習の授業では学生間で調査内容を共有したり議論を交わしたり、さらにはピアレビューを行う授業であるが、教員から次のような効果があるとコメントが寄せられています。意見を出しあう場面でも今までは紙に書いていたため、紙に近い一部の学生が 2 人ぐらいで相談する形になることが多く、意見を言わない学生が生じていましたが、ホワイトボードがあると見やすいし、ボードに向かって意見を言うということになるので、議論が活発になっています。ホワイトボードが配備される以前はもっと静かでしたが、ホワイトボードを活用してからは結構活発な議論ができています。



◆ 寄付者の皆様へ

授業中のコミュニケーションが活発になったという効果が発揮されています。コロナ禍を経て学生の対人基礎力が低下しているといわれている昨今、甲南大学生らしいコミュニケーション力を持つ学生の育成につながる授業が展開できるようになったこと、厚く御礼申し上げます。（職員より）

05 教育・研究活動支援

● 「未来を担う学生へ～学長から贈る言葉～」における彩りの充実化

令和4年4月よりCプロジェクト（プロジェクト名：未来を担う学生へ～学長から贈る言葉～）として、20歳の誕生日を迎える学生に対し学長からのお祝いメッセージを毎月送付しています。本プロジェクトについては「学生一人一人の存在認知」「人として温かみのある対応」を目的として実施していますが、学生からの反応も良く、「関西一面倒見の良い大学」を達成するための取組の一環として推進している状況です。今後も大学から学生へ祝意を示すことで、上記の目的を達成し、本学への帰属意識を高めるとともに、KONAN 未来サポーターズの認知度を高め、次の世代への支援を促すことにも繋げる計画としてご支援いただきました。

具体的な実施内容としましては、兄弟姉妹が本学に所属している可能性があることを想定し、年度毎にデザインを変更するために4種類のデザイン（別添）を制作するための費用とさせていただきました。2025年度より制作したデザインの使用を開始し、次年度以降、別のデザインを使って送付を継続する予定となっています。



◆ 寄付者の皆様へ

本プロジェクトを通じて、学生が甲南大学をさらに好きになり、そしてバトンを次の世代に繋ぐ役割を担ってほしいと願っております。この度は多額のご支援・ご寄付を頂戴し、誠にありがとうございました。（職員より）

● 甲南大学ビデオ CM コンテスト

● 企画目的

グループで協働しながら甲南大学の良さを映像化し、作品は広報活動へも利用する。
企画の段階から改めて本学について考え、発信することで愛校心の増長を図る。

● 企画内容

在校生がグループを作り1分間の大学ビデオ CM を作成する。作品は学内での放映や大学のPR機会にも活用し、視聴者に本学のイメージアップを図る。

● 企画概要

ビデオ作品時間／1 作品につき1分とする

応募者／甲南大学在學生に限る 個人またはグループ

- ・1 グループ最大5名／学年、学部は問わない
- ・1 名につき2 作品まで応募可能（個人・グループ合わせ）

● 作品内容

- ・視聴者に甲南大学の良さが伝わるもの（未発表のものに限る）
- ・作品は、動画・静止画・アニメーションなど映像とする（著作権について十分に留意する）
- ・テーマは大学を表現する内容であれば、必ずしも大学全体を網羅しなくてもよい

● 審査

- ・優秀作品 15 作品 学生事務局（共通応用演習武田ゼミ）、および関係する教職員によって決定
- ・最優秀作品は審査委員会によって決定

● 制作補助費

応募作品の中から優秀作品 15 作品を選び、各々制作補助費を支給する。

● コンテストのフロー

- ① 企画書、ラフ案提出 ⇒計 80 作品が集まる
- ② 優秀賞 15 作品を選出（制作補助費を授与）（12/中旬）
- ③ 作品完成版を提出（2/14 再提出締切）
- ④ 審査委員会の選考の下で最優秀作品を決定（3/3 審査委員会を実施）



◆ 寄付者の皆様へ

この度はご支援いただきありがとうございました。参加した学生にとって甲南大学のよさを改めて考え、発信するよい機会となりました。今後ともよろしくお願いいたします。（教員より）

● 教育職員免許状の取得を目指す学生の支援

本学で取得できる教育職員免許状は、中学校と高等学校の一種または専修免許状ですが、神戸親和大学との協定プログラムを受講することにより「小学校教諭一種免許状」を取得することができます。教職教育センターでは小学校教諭を目指す学生に対して、11号館2階の教職教育センター共同研究室・実習室（以下、KTL）に小学校プログラム担当の教職指導員を配置し、適宜、模擬授業や指導案について指導・相談を受けられる体制を整えていますが、その指導の中で使用する教科書（小学校1年生～6年生）について、2024年度に改訂された新教科書が揃えられていませんでした。この度、KONAN 未来サポーターズ寄付金を利用し、新教科書を購入、配架させていただきました。

また、同じKTLにおいて指導員が使用するパソコンモニターもKONAN 未来サポーターズ寄付金で購入させていただきました。学生の作成した課題を投影し、同じ画面を見ながら添削するなど、活用させていただいています。



◆ 寄付者の皆様へ

教科書は小学校の授業をリアルにイメージしたり、最近の教育思潮を理解したりすることができる、最高の情報源です。最新のものをそろえていただくことで、学生の意識も高まります。ほんとうにありがとうございました。（指導員より）

● 9号館1F ロビーMTGスペースの充実化

9号館1階ロビーのミーティングスペースは、学生によるゼミの打ち合わせや自習、また経営学部・法学部・経済学部の教員による学生指導や、教職員と企業担当者との打ち合わせなどに幅広く使用されています。活用の頻度が増えるにつれてスペース不足が発生していたため、これまで使用していた備品も活用しつつ、学生たちがより快適に過ごせるように、机と椅子を増設しました。



◆ 寄付者の皆様へ

学生たちは自習や食事、MTG など様々な用途で使用しています。小さなスペースではありますが、学生たちが集える場所の一つになったと思っています。（職員より）

07 課外活動支援

● クラブ活動奨励金

正課外教育の一環であるクラブ（体育会 47 団体、文化会 27 団体）の活動をさらに活性化させ、学生の成長を促すことを目的として、各クラブの活動に資する費用を支援しました。資金の使途についてはルールを定めていますが、可能な限り学生が必要とする用途で使用できるように、学生たちとコミュニケーションを取りながら執行の可否を検討し、学生の経済的な負担の軽減と、活動環境の改善に活用させていただきました。

- | | |
|------------|--|
| ・アーチェリー部 | ターゲット的紙ターゲット、スーパーレスト |
| ・卓球部 | マグかるフェンス AL200×4 |
| ・バスケットボール部 | テーピング |
| ・体操競技部 | 跳馬ボティレザー張替え |
| ・硬式庭球部 | シングルスボール |
| ・グリークラブ | 第 69 回リサイタルのチケット、チラシ |
| ・硬式野球部 | バット代 |
| ・クラブ共通貸出備品 | 六アイ用ステンレス物干し台×2、
プロジェクタースクリーン（床置き式） |



◆ 寄付者の皆様へ

いただいた寄付金はリサイタルのパンフレットやチケットの作成費用として使わせていただきました。みなさまからのご支援のおかげで当日は約 200 名のお客様に足を運んでいただくことができました。心より感謝申し上げます。2025 年 12 月には第 70 回リサイタルを開催する予定ですので、さらに多くのお客様に歌声をお届けできるように精進してまいります。（文化会グリークラブ）

08 地域連携活動支援

● 阪急西宮ガーデンズ連携プロジェクト おしゃれピクニック企画

阪急西宮ガーデンズ（阪急阪神ビルマネジメント株式会社）との連携協定に基づく取り組みとして、昨年に引き続き、前年度 CUBE 科目「リサーチイントロダクション」で提案されたアイデアをベースに、具現化に向けて6月～11月の半年間でプロジェクトを行いました。

実施イベント：「OSYAPIKU in SKYGARDEN」

実施日：2024年10月23日(水)、25日(金)、28日(月) 17:00～19:30

場 所：阪急西宮ガーデンズ4階 スカイガーデン

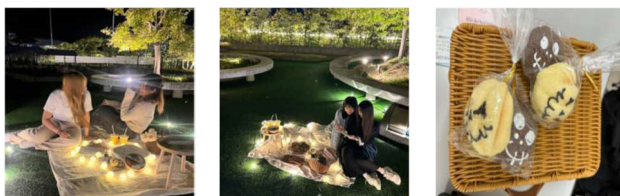
定 員：15組 30名（各日5組 10名）→実績：12組 26名

キャリア創生共通科目「地域プロジェクトⅠ・Ⅱ」対象プロジェクト（担当：木成先生・マネジメント創造学部）として、14名の学生（マネジメント創造12名、経営2名）が4月にリニューアルされたスカイガーデンの新たな活用方法として若い世代に人気のある「おしゃれピクニック」を企画・実施しました。

ピクニックを彩る各種アイテムの大半をガーデンズ内店舗にて揃え、フード・ドリンク提供においては、以下3つのテナントに協力いただきました。

- IN THE GREEN GARDENS（本館4階）
- With Green（本館1階）
- ローゲンマイヤー（本館1階）

成果報告会を、2024年11月25日（月）甲南大学西宮キャンパスにて開催し、ガーデンズ担当者より「社員では思いつかない切り口のイベント実施となった」「スカイガーデンの新たな活用提案に繋がった」といったフィードバックをいただきました。



◆ 寄付者の皆様へ

「OSYAPIKU in SKYGARDEN」と題し、主に若い世代に対して新たなスカイガーデンの活用方法を知ってもらいイベントを開催いたしました。地域連携センターでは、引き続き地域の課題に対する様々なプロジェクト活動を通した学生の学びの機会を提供してまいります。（職員より）

09 図書整備支援

● 図書館資料充実化事業

国税庁の税務訴訟資料をはじめとした法学関係資料、大学院生向けの研究用資料や学部生向けの文庫・新書等、合計 611 点を整備しました。また阪神・淡路大震災 30 年記念ページとして『阪神・淡路大震災デジタルアーカイブ 学園が震えた日』を総務部 学園史資料室と協力し作成、震災から復興までの記録映像や関係者コメントを掲載、その他動画や写真等を多数甲南大学デジタルアーカイブにて公開しました。さらに英文学の貴重資料である長沼文庫の講演録音オープンリールの修復・デジタル化も行いました。



KONAN 未来サポーターズ文庫



雑誌館（税務訴訟資料の一部）



阪神・淡路大震災デジタルアーカイブ
『学園が震えた日』

◆ 寄付者の皆様へ

いつも甲南学園をご支援くださりありがとうございます。今回のご寄付では入手の難しい（しかし大学院生の研究に役立つ）国税庁の資料や、硬軟織り交ぜた学生用図書を、多数購入することができました。また震災から 30 年ということで甲南学園が保管していた資料をデジタルアーカイブとして公開することもできました。理事長・学長・校長をはじめ、当時を知る学園関係者に教訓となるご意見もいただき、新たな記念ページとなっています。ぜひ目を通していただけたらうれしいです。震災を知らない学生も過去の記録から将来の備えに繋げることができると信じています。引き続き甲南大学図書館をよろしくお願いいたします。（図書館長より）

10 中高大一貫教育支援

● 中高大一貫教育プログラムの充実

● 「高大連携講座」の充実

11月25日、高三「法学入門」の授業において、「イノセンス・プロジェクト・ジャパン」のボランティア学生15名（笹倉教授も同席）の協力のもと、冤罪関連のレクチャーとワークショップを実施しました。事前（11月11日）に行われた笹倉教授の出張授業の内容も踏まえ、冤罪に関する内容で模擬授業やグループに分かれてワークショップに取り組みました。16名の生徒を4グループに分け、それぞれに大学生が2～3名加わり、生徒と共に冤罪について考える充実した取り組みとなりました。

● 「キャリア・デザイン」の充実

小論文指導

11月8日、内部進学予定の甲南高校3年生名が甲南大学を訪問。全学交通教育センターの千葉美保子准教授より小論文指導を受けたほか、食堂利用施設見学等を通じて、甲南大学での学生生活を一部体験。



● グローバル関係交流プログラムの充実



12月23日、KONAN Interculture Dayで甲南大学の留学生12名と日本で働く外国人を招待し、中学生2年生と交流。イベント前半は英語でのポスタープレゼンテーション、後半はアクティビティを実施し、国際的な視野を広げました。

● 課外活動での交流充実

甲南中高生が大学の六甲アイランド施設で大学生とともに課外活動に取り組みました。大学生と中高生の交流促進、大学の充実した施設を体験する機会創出につながりました。

● 三学園環境学習の成果展示

9月29日、30日に開催された文化祭にて、三学園の活動が始まった当時の写真の展示や今年度の取り組み（廃材を使ってのお箸作りなど）についてポスター展示を実施。また、今年度は廃材を使ってのお箸作りに加え、絵馬も製作し、来場者、特に受験生へプレゼントを行いました。

◆ 寄付者の皆様へ

みなさまのご支援のおかげで、甲南大学生と甲南高校生・中学生が交流し、共に学ぶ機会を数多く作ることでできました。早期から交流の機会を持つことで、今後も本学園の特長の一つである10年一貫教育の充実を目指したいと思います。この度はご支援いただきまして誠にありがとうございました。（職員より）

11 キャンパス整備支援

● SDGs につながるウォーターサーバー(冷水器)の設置

2号館1階にウォーターサーバーを設置しました。Global Zone から容易にアクセスできる場所に設置したことにより、主に外国人留学生に活用してもらえています。外国人留学生からも以下のような感謝の声が届いています。

- 今までは、iCommons の冷水器でコップから水筒に給水していましたが、給水のストレスが無くなりました。
- 1号館の冷水器よりも水が出てくるスピードが早いことが素晴らしい。
- 給水口が大きいので、サイズの大きな水筒にも水を入れられるのが嬉しい。

また、合わせて量水器も設置したため、定期的に提供水量の確認を行い、キャンパス内のプラスチックゴミの削減や、サステナビリティに関するメッセージを学内外に広く伝えることに取り組んでいきたいと思います。



2号館1階に設置



ウォーターサーバー

◆ 寄付者の皆様へ

キャンパス整備の一つとして、2号館1階にウォーターサーバーを設置させていただきました。甲南大学へご来校の際は是非マイボトルをご持参してお越しください。(職員より)

12 リカレント教育支援

● 金融リテラシー教育プログラム プレ開講

2025 年度から本格開講する「金融リテラシー教育プログラム」に先立ち、2024 年度後期に一部カリキュラムをプレ開講しました。受講者募集をしたところ、定員 30 名を大幅に超える出願がありました。このプログラムは、有職社会人を主な対象としたオンラインプログラムで、録画講義動画を主たる学習コンテンツとし、必要に応じてビデオ会議システムを用いた双方向型のリアルタイムオンライン授業を組み合わせています。リカレント教育での動画コンテンツ提供は本学初の試みであり、当該寄付金を活用して次世代型学習プラットフォーム「Schoo Swing」システムを導入しました。同システムは学修プロセスデータを可視化できる授業配信システムであり、アクセスログ解析や、動画視聴ログの確認を可能にすることから、受講者ごとの学習分析を把握できます。これにより、プレ開講で得られた知見を 2025 年度本格開講に向けたプログラム改善に活かすことを想定しています。また当システムはオンライン授業に特化したサービスであるため、受講者にとっての操作性の向上にもつながっています。今後は今回の各種データ分析等の結果も踏まえ、4 月からの本格開講に向け準備を進めていきます。

◆ 寄付者の皆様へ

今回のプレ開講での「Schoo Swing」システムは、今後の本学のオンラインプログラムの充実に繋がるものです。サポーターズ寄付金の活用により導入できました。ありがとうございました。（職員より）

● 海外リカレント研修（ベトナム）

「海外リカレント研修」は、本寄付金事業を契機として、2023 年度に初めて実施した試みです。2024 年度はその第 2 弾として、リカレント教育プログラムを担当する全学共通教育センター小西准教授の引率のもと、履修生 11 名がベトナム・ホーチミンを訪問しました。出発前には、ベトナムの歴史・社会・経済について事前研修を行い、現地理解を深めたうえで渡航しました。現地では、ホーチミン市内の視察に加え、日系企業 2 社（紀伊プラスチック、オムロンヘルスケア）を訪問し、グローバル展開の実態を直接学びました。さらに、海外協定校であるホーチミン市師範大学での交流プログラムでは、相互に自国の文化や社会について複数のテーマで発表し、現地の学生との交流を通じて異なる文化、異なる世代の現状を肌で感じる経験を得ました。こうした一連の学びを通じて参加者は、観光では得られない社会の実像に触れ、自らの視野を広げました。



◆ 寄付者の皆様へ

本研修は、海外という異なる社会的文脈に身を置くことで学びを深化させ、知識を実感を伴った理解へと高める実践の場であり、リカレント教育の可能性を広げる試みとして意義ある成果を残しました。今後も多様な年齢層・ニーズに対応した魅力ある学習機会を提供できるよう企画・運営してまいります。ありがとうございました。（職員より）

13 学園資料整備事業支援

● 学園資料整備事業

貴志康一（1909～1937）は旧制甲南高等学校の3期生。18歳のときに欧州へ留学し、著名な音楽家であるヴィルヘルム・フルトヴェングラーから指揮を学びました。20歳のときに日本人で初めてストラディヴァリウスを手にし、26歳ではベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮するなど、演奏者、指揮者として活躍しました。また28歳の若さで夭折するまでに多数の曲を作曲するなど、作曲家としても知られております。

貴志の母親と妹たちによって大切に守られていた遺品が1976年に母校である本学へ寄贈されたことをきっかけとして、貴志康一記念室を開設しました。記念室では、楽譜や資料の保存・管理のほか、貴志康一の作品が多くの方々に演奏され、親しまれることを願って様々な活動を行い、日本のクラシック界黎明期に活躍した「貴志康一の社会への積極的な発信」につとめております。

その一環として、資料の電子化を進めています。具体的には、①：ビデオテープをDVD-Rにダビングし再生環境を整備、②：記念室に保管されている楽譜・手紙等をA3サイズでスキャンですが、これまで適した機材がありませんでした。

このたび、KONAN未来サポーターズ寄付金事業を活用し、DVD-Rドライブ、フラットヘッドスキャナ、ノートパソコンを整備することで、電子化の環境が整いました。引き続き貴重な史資料の保管と情報発信に努めてまいります。

◆ 寄付者の皆様へ

この度は寄附金を活用することにより貴志康一記念室の資料デジタル化環境を整備することができました。貴志とご家族が残した資料を一つ一つ電子化し、将来にわたって社会に対し発信することで、その事績を永く伝えてまいりたいと存じます。このたびはご厚志を賜りまことにありがとうございます。（職員より）

01 奨学金・奨励金支援

● KONAN 未来サポーターズ寄付金奨学金

6月に「学業、人物ともに特に優秀で課外活動に積極的に参加し、経済的理由により学資の援助が必要であると認められるもの」を条件に校内奨学金の受給者を選考、その後予算化された「サポーターズ寄付金奨学金」により、先の選考で不採用となった次点者2名に奨学金を給付することができました。

- ・採択者 2名（校内奨学金採用次点者）
- ・金額 100,000円/人

◆ 寄付者の皆様へ

この度は、本校生徒への奨学支援のご寄付をいただき、ありがとうございました。景気の悪化や物価高に伴う家計への影響等に伴って奨学金応募者は増加、校内の選考委員会も難航する中、皆様方からの温かい支援で集まった奨学金を給付することができましたことに心より感謝申し上げます。（教員より）

02 学生・生徒プロジェクト支援

● 生徒の諸活動の活性化推進支援

サポーターズ寄付金により、本校にクラブがないスポーツ・研究活動・芸術活動等で、甲南の名を馳せる活躍をした生徒への支援を行いました。また支援を通して、学校外での生徒の諸活動の可視化・活性化に寄与する制度を構築しました。

1. 対象者 2名

中3 横山 立：日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2024
男子フリールーティンソロ決勝 2位



◆ 寄付者の皆様へ

この度はご支援をいただき誠にありがとうございます。今後も甲南生の自覚と誇りを胸に精進し、日本代表を目指していきます。引き続き活動を見守っていただけますと幸いです。（教員より）

高2 福留 颯一：学生音コン全国大会（声楽）入選（4-10位相当）



◆ 寄付者の皆様へ

この結果は、ひとえに先生方のご指導、家族の支えのおかげです。そして、何より学校からのご支援に心より感謝申し上げます。今後も更なる技術向上を目指し、音楽の魅力を多くの人に届けられるよう研鑽を積んでまいります。（教員より）

04 理系学生に対する教育研究支援

● サイエンス・ラボの特色化援助

教科書の単元にとらわれない実験で科学的な好奇心を刺激、実験結果の考察から科学的思考力を養うことを目的に中学2・3年生対象とした「サイエンス・ラボ」を実施しています。本支援への寄付は、同ラボの実験用器具の購入に充当させていただきました。

・物理実験「ロケットを飛ばそう」 ロケットエンジン

◆ 寄付者の皆様へ

サポーターズ寄付金による支援がなされていることを受講する生徒に伝えることで、期待や注目されている実験であることを自覚させることでの教育的効果もあります。専門性を高い多彩な授業の展開を図り、理系人材の育成を目指しますので、引き続き、ご支援ください。（教員より）

05 教育・研究活動支援

● 放課後学習会の充実化支援

「放課後学習会」は、2006年の中学校5クラス編成と学習センターの環境整備を機に、学習習慣と確立と自主的学習の促進を図るため、チューターを配置し教科指導や学習方法の相談を従前の補習ではない形で試行、現在は対象を高校生に拡大、定期考査前にも開催しています。予算的な制限があることから、サポーターズ寄付金を運営経費の一部に充当させていただき、内容の充実及び開催回数の増加を図ることができました。

◆ 寄付者の皆様へ

この度は、本校の教育活動支援のご寄付をいただき、ありがとうございました。ご支援のおかげで、放課後学習会を更に充実させることができました。今後も「放課後学習会」が自身の進路を切り開くベースとして位置付け、生徒が望む様々な進路に対応できるよう努めて参ります。（教員より）

06 国際交流支援

● 海外大学進学チャレンジ支援

サポーターズ寄付金により、海外大学への進学を目指し合格した生徒に対し、奨励費を支給し、受験での費用や海外大での生活費の一助として支援を行いました。

1. 対象者 2名
岡崎 タイラー 明：Bucknell University（アメリカ）
牟田口 有悟：Ball State University（アメリカ）
2. 金額 50,000 円/人

◆ 寄付者の皆様へ

この度は海外大学チャレンジ支援にご寄付をいただきまして、誠にありがとうございました。頂戴しました寄付金は海外大学へ進学する準備のために大切に使用させていただきます。甲南で培った知識・経験を活かし、大学に進学してからも引き続き世界に通用する紳士を目指せるように精進いたします。重ねて御礼を申し上げますとともに、今後ともお力添えをどうぞよろしくお願い致します。（教員より）

07 課外活動支援

● 寄付金指定クラブの活動支援

寄付者から指定のあった各クラブの活動費・強化費に充当しました。本年度は4クラブが新たに加わり、文化クラブにも支援が広がりました。保護者会やOB会でもKONAN未来サポーターズ制度が話題となり、支援の輪が広がりました。物品の購入、使用にあっては、生徒自身が所属するクラブにファンやサポーターがいることの理解を促し、アスリートとしての心構えを体得させるとともに戦績の向上につなげるべく、教育指導に努めました。

- ・ブラスアンサンブル部：コントラバス、バンドレン、アルトサクソフイド
- ・バスケットボール部：
スポーツフィジカル測定、スキルワークアウト指導費、
遠征用貸切バス、iPad、ショットクロック表示板及び操作盤、
バスケットボール、ボールカゴ
- ・ラグビー部：スクラムマシン
- ・テニス部：サーブ練習具サーブアップ
- ・馬術部：練習場飼料代等
- ・高校野球部、中学野球部：野球ボール

◆ 寄付者の皆様へ

この度は、クラブ活動支援のご寄付をいただき、ありがとうございました。高額な楽器やトレーニング用の機材、必要な消耗品等の購入や遠征費補助に充当させていただき、生徒も大変喜んでおります。サポーターズ寄付金を介して、クラブや自身への期待や戦績に注目がなされていることを知ることでのモチベーションの向上や、感謝する気持ちの涵養が図れました。今後も高等学校・中学校のクラブの活躍に期待ください。（教員より）

11 キャンパス整備支援

● 小グラウンド内の照明設備の整備支援

昨年度の小グラウンド入口スロープ周辺の照明設置に引き続き、同グラウンド内にLED 屋外灯を整備させていただきました。敷地内には弱電設備しかなく、早秋から立春までの夕方からは暗闇となるため、限られた練習メニューしかこなせなかった冬場の部活動の時間を1日1時間、確保することができました。

工事は授業やクラブ活動でのグラウンド使用のない2学期終業後に実施されましたが、はじめて部活動で照明を点灯した際には、グラウンド中に歓声が沸き上がりました。



◆ 寄付者の皆様へ

「練習環境が整い、非常に練習がしやすくなっただけでなく、足下が見えるため、こけて怪我をするリスクも格段に減りました。ありがとうございました。」(中学野球部主将)

「グラウンドが冬季の練習時も非常に明るく、ランニングにも危険が伴っていた状態が、ボールを扱った練習まで取り組むことができるようになり、飛躍的に練習内容を充実させることができるようになりました。また、ボールの紛失だけでなく、グラウンド内の忘れ物も減りました。長年の危険解消が懸案事項でしたし、かつ、授業の関係でフロントランナーコースの生徒が暗くてボールを扱った練習がほぼできない問題を解消することができて、感謝しかありません。本当にありがとうございました。」(野球部顧問一同)

KONAN PLANET での記事はコチラ♪

<https://share.google/xsryOGtbeOSvzEjzi>

<https://www.konan-u.ac.jp/konan-planet/news/supporter202508/>